

society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

拜島駅前にも多摩のアンテナショップ

石川酒造直営 11月オープン

「ここに多摩の素敵が集う、ちょっとイイモノ、ちょっと便利なお店」がコンセプト

多摩地域の商材をそろえた民間のアンテナショップが11月、JR拜島駅前にオープンする。石川酒造(福生市熊川)が直営し、多摩地域ならではの特産品を揃え、地域の魅力と共にPRしていく。店舗名称は公募し、現在審査中。

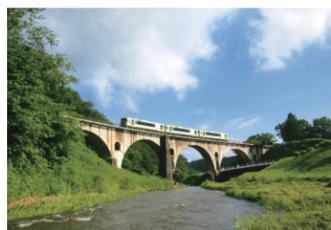
「ここに多摩の素敵が集う、ちょっとイイモノ、ちょっと便利なお店」がコンセプト。多摩地域の商材をそろえた民間のアンテナショップが11月、JR拜島駅前にオープンする。石川酒造(福生市熊川)が直営し、多摩地域ならではの特産品を揃え、地域の魅力と共にPRしていく。店舗名称は公募し、現在審査中。

西多摩地域には、あきる野、檜原の特産品などを扱う秋川渓谷物館・みやび工房(日の出町大久野)などがあり、販売する。店内で購入した商品をその場で味わえるイートインコーナーや専用サーバーを使った有料の日本酒試飲コーナーも併設する予定。



創業150年の酒蔵がアンテナショップの運営に乗り出す。

「河村豊写真展」小澤酒造で7日、ローカル線と原風景をテーマに「河村豊写真展」が小澤酒造澤乃井ギャラー(青梅市沢井)で9月7日〜24日まで開かれる。懐かしい思い出や、ふるさとの風景、いつか行ってみたい場所などに合える。10時〜16時30分。11日、19日は休館。



激辛フェスへ青唐辛子収穫

羽村市商工会青年部 来年2月開催



猛暑の中で収穫作業を行った伊藤さん(後列右から4人目)ら青年部の皆さん

5年連続最高金賞 カレーパングランプリで

「秋川牛キーマカレーパン」 「あ・ら・も・ど」秋川駅北口



中嶋市長に最高金賞を報告した野田店長(右)も「あ・ら・も・ど」(あきる野市秋川)の「秋川牛キーマカレーパン」が7月、「カレーパングランプリ2023」(日本カレーパン協会主催)のキーマカレー部門で5年連続最高金賞を受賞した。

秋川駅北口にあるパン店「あ・ら・も・ど」(あきる野市秋川)の「秋川牛キーマカレーパン」が7月、「カレーパングランプリ2023」(日本カレーパン協会主催)のキーマカレー部門で5年連続最高金賞を受賞した。



「いま一番美味しいカレーパンはどれだ？」を合言葉に開催されるネット投票で順位が決まる。「秋川牛カレーパン」(313円税込)は、秋川牛を使った「うま味たっぷり」のキーマカレーを天然酵母生地で包んで揚げたもの。秋川牛すね肉の煮汁を加えた甘みとうま味が

特徴で、売り上げ全体の2割強を占める同店の目玉商品。洋食の調理師を経験してきた店主の野田満由樹さんは、地元の特産品を使うなどアイデアを次々に商品化。トウモロコシを使った生食パンやおやき、ノラ

ボウの粉末を練り込んだ焼き菓子なども常連に喜ばれている。8月3日には中嶋博幸あきる野市長を表彰訪問し、5年連続の最高金賞を報告した。中嶋市長は「秋川駅前に開店されて25年。こだわりパンをずっと作り続けていくという熱意が素晴らしい」と今後の活躍に期待を寄せた。営業時間は8時〜19時。木曜定休。

来年2月に1カ月にわたり開催を予定する「第8回はむら激辛フェス2024」に向け、主催の羽村市商工会青年部が7月28日、地元農家で激辛の元になる辛い強い青唐辛子を収穫した。

「飲食店が参加しやすい地域を盛り上げるイベントを」と、和風肉ビストロ空楽を営む、現在同商工会青年部長を務める伊藤巧さんが提案。6年前から始まり、コロナ禍でもテイクアウトに絞って続けてきた。

企画には、市内の中野修一さんと中根一明さんの農家2軒が協力。この日の収穫作業

は中野修一さんの畑で行い、青年部メンバーは額に玉の汗をかきながら、一本一本丁寧に収穫した。作業は今後数回行い、計100kgを用意して参加店に配布する。13店で始まった同フェスは年々参加店が増え、昨年は42店になった。「各店独自の激辛料理がファンの胃袋をつかんでいる」と伊藤さん。期間中、スタンプリーなどの企画を予定。伊藤さんは「多くの店に参加してもらい、店が元気になって、地域全体が盛り上がる」と期待を込める。